



～礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉

『感動』

目で見ること
耳で聞くこと
鼻で匂うこと
口で味わうこと
肌で触れること
それが感じることに
感じることは素晴らしい
それなのに普段は気付かない
見えることや聞こえてくるものが当たり前
当たり前前って何だろう
人は何か困らなければ気付かないもの
生きていることが当たり前
感じることを感じたことがあるだろうか
何かのきっかけがないと気付けない
一日一度でいいから意識して感じてみる
感じるためにもいろいろと五感を働かしてみる
自分を中心に周りの気配や状態を意識してみる
何でもいいから感じてみる

すると少しずつ感じてくるものがある
何かが動き出してくるはずだ
昔からあった感覚のものなのか
それとも新しいものなのか
どちらとも言えない感覚が心の中に現れてくる
何も動かなければ何も生まれもし感じない
感じるためには何かの行動を取らなければならない
感じて動く
まさしくそれが“感動”である
感動を手に入れたければ
感じて動く
当たり前前では何も変わらない
ある日の午後
空を見上げたら雲一つない青空があった
五体満足
しっかりと大地に両足で立ちながら
青空を見ることがただ嬉しかった
当たり前前のが当たり前ではない
心で感じ心を動かす
まさしくそれが“感動”である

岡志天
徳島県